第31回

英語教育方法研究セミナーオンライン

2022年8月8日(月)～8月20日(土)

申込受付期間
2022年7月1日 (金) ～8月13日 (土)

主催： 一般財団法人 国際教育振興会
協力： 日米会話学院

www.iec-nichibei.or.jp
www.nichibei.ac.jp

【ご挨拶】

英語教育方法研究セミナーは、英語教育の実践に携わられている中学・高校および小学校の現職教員の方々を主な対象として2000年より、実施してまいりました。

本セミナーは過去2年間、新型コロナウイルス感染症のため、休止や限定的な開催としてきましたが、今夏は英語教育の専門家の先生方を講師としてお招きし、全国どこからでもご参加いただけるよう第31回大会として、全セミナーともオンライン（Zoom）にて開催いたします。

ウィズコロナ状況下での教育が定着しつつある中、全国の先生方におかれましては新時代の学校運営や学びの方法を目指してさまざまな努力と工夫を続けられていることと存じます。
今年度は、2020年度小学校、2021年度中学校と段階を踏んで実施されてきた学習指導要領の改訂の最終段階となる、高等学校学習指導要領の改訂の初年度にあたります。日本の英語教育も大きな変貌を遂げつつあり、これら改革を成功に導いていくために皆さまが大きな役割を担われていくものと思っております。

今年度はセミナーの全体テーマを「学習指導要領改訂への対応を踏まえつつ、グローバルに活躍できる人材を育てる指導とは」と設定し、現場の先生方の悩みを解決し、指導の指針となるべく各セミナーを展開して参ります。
また、英語の先生方のみならず、一般の英語学習者にとって有効な講座も提供いたします。

本セミナーが英語教育にかかわる皆様、英語スキルの向上を目指す皆様にとって有益なものとなりますよう、ご多忙とは存じますが、是非ともご参加くださいますようご案内申しあげます。

一般財団法人国際教育振興会 代表理事
日米会話学院　学院長
金野　洋

【概要】

主　　催	**一般財団法人 国際教育振興会** **International Education Center （IEC）**	協　　力	**日米会話学院**
日　　程	2022年8月8日（月）～8月20日（土） 詳細は次ページ以降をご確認ください。	会　　場	オンラインセミナー
対　　象	小学校教員、中学・高校の英語教員、英語教員志望の大学生、英語教育に関心のある一般社会人など。		
申 込 方 法	最終ページの募集要項をご確認ください。		
申込受付期間	2022年7月1日（金）～8月13日（土） 各セッション開講7日前までにお申し込みください。申込順の受付で、定員に達し次第締め切ります。 各セッションの空き状況につきましてはお電話にてお問い合わせください。		

【講座一覧】
すべての授業はオンラインで行います（Zoomを使用）。

セッション	科目名	講師	日程	時間	定員（名）	受講料	コード番号
1	**Introduction to Second Language Acquisition（第二言語習得研究入門講座）**	和泉　伸一	8/8(月) 8/9(火) 8/10(水)	10:00～12:00 （120分×3回）	24	18,000円	**54701**
2	**成功する授業ディベート ～理論編～**	山口　和彦	8/11(木)	10:00～12:00 （120分）	24	6,000円	**54702**
3	**成功する授業ディベート ～実践編～**	山口　和彦	8/11(木)	13:30～15:30 （120分）	12	6,000円	**54703**
4	**英語らしい発音で歌いましょう！ ～歌で上達、英語発音～**	靜　哲人	8/12(金)	10:00～12:00 （120分）	10	6,000円	**54704**
5	**英語らしい発音で語りましょう！ ～TEDで上達、英語発音～**	靜　哲人	8/14(日)	10:00～12:00 （120分）	10	6,000円	**54705**
6	**世界で活躍するためのグローバルマインドの育て方と 世界基準の英語試験IELTS教授法**	嶋津　幸樹	8/13(土)	10:00～12:00 （120分）	24	6,000円	**54706**
7	**4技能型授業を実現する準備活動**	内田　浩樹	8/13(土)	13:00～16:00 （180分）	24	9,000円	**54707**
8	**成功するプレゼンテーション指導**	内田　浩樹	8/16(火)	9:30～12:30 （180分）	24	9,000円	**54708**
9	**自立英語学習法セミナー**	緒車　奈穂子	8/14(日)	13:00～16:00 （180分）	24	9,000円	**54709**
10	**深い学びへ導く英語リーディングの実践 ～学習者エンゲージメントを引き出す授業デザイン～**	和田　玲	8/15(月)	10:00～16:00 (昼休:12:30～13:30) （150×2回）	24	15,000円	**54710**
11	**Reading Aloud から Reading Alive へ ～聞き手を意識した伝わる朗読＆プレゼンテーション～ 入門編**	青谷　優子	8/17(水)	9:30～12:30 （180分）	12	9,000円	**54711**
12	**Reading Aloud から Reading Alive へ ～聞き手を意識した伝わる朗読＆プレゼンテーション～ 実践編**	青谷　優子	8/17(水)	13:30～16:30 （180分）	12	9,000円	**54712**
13	**学びを止めない！！オンラインで実施する 「英語」×「探究」、「英語」×「教科横断」**	米田　謙三	8/19(金)	10:00～12:30 （150分）	24	7,500円	**54713**
14	**話すための音読：考え方とやり方**	浦島　久	8/20(土)	13:30～16:00 （150分）	24	7,500円	**54714**
15	**追加セミナー 英語らしい発音で語りましょう！ ～TEDで上達、英語発音～**	靜　哲人	8/14(日)	14:00～16:00 （120分）	10	6,000円	**54705**

※ 各セッションは、質疑応答・休憩の時間を含みます。
※ セッション3、4、5、11、12は個別発表・個別フィードバックを含む内容のため少人数での実施となります。
※ 学費は消費税込みの金額です。

セミナーはすべてオンラインで行います（Zoomを使用）。
授業開始5分前にはZoomに入り、ご準備ください。
マイクオン・カメラオンでのご参加をお願いいたします。

Zoom環境　■■ご受講前に、あらかじめご確認ください■■

- インターネット接続には有線または無線ブロードバンドをご利用ください。4Gまたは5G／LTEでも可能ですが、月別のデータ重量制限を越えると追加料金が発生する場合があります。
- スピーカーとマイク、ウェブカメラが使用できる機器が必要です。パソコンが理想ですが、スマートフォンやタブレットPCでも可能です。その際は、ヘッドセット（マイク付きイヤホン）などの使用が便利です。
- 設定については、下記をご参照ください。
  https://www.nichibei.ac.jp/news_archive/information/_zoom.html
- 詳しくはZoomのヘルプデスクをご覧ください。
  https://support.zoom.us/hc/ja/categories/200101697

【講座紹介】

■セッション1

講座名	日程	時間	定員	コード番号
セッション1 **Introduction to Second Language Acquisition** **（第二言語習得研究入門講座）**	8/8（月） 8/9（火） 8/10（水）	10:00～12:00 （120分×3回）	24	**54701**

本講座では、日本でも英語教員教職課程で必修科目となった第二言語習得研究（Second Language Acquisition: SLA）について、インタラクティブな形式で学んでいきたいと思います。SLAの理論と実証研究について学びつつ、英語授業への実践応用について一緒に考えていけるような講座としたいと考えています。SLA初心者から、これまで少しSLAについて学んだことのある人まで、幅広い受講者を対象としています。特に今回の講座では、言葉の学びにおいてどのようにインプット、アウトプット、インターアクションが重要となるのか、そしてその教育的意義や応用性などについてSLA研究の視点から一緒に考えていきたいと思います。

言葉の学びには、それが母語習得であろうと、第二言語環境あるいは教室環境での学びであろうと、インプットの重要性は変わりません。なぜインプットがそれほど重要なのか、どのようなインプットが必要で、それを学習者はどう処理して言語習得につなげていくのか、こういったことについてこれまでのSLA研究では様々な角度から研究がなされてきています。一方、インプットの重要性に反して、日本の英語教育ではインプットの価値はそれほどまでに認識されていないように思えます。それよりも、文法や語彙の説明と、それに続く練習活動、そして時間が許されれば行われる擬似コミュニケーション活動でアウトプットさせることが、英語の習得では最重要だと想定している授業が多いようです。これらの授業で欠けているのは、場面状況に即した意味のあるインプットの存在です。単に文法や語彙を教える手段としてのインプットではなく、言葉が価値ある内容を運ぶ媒体として生き生きと使われる姿を表したインプットを通してこそ、本来あるべき言語習得が望めることを強調したいと思います。

一方、アウトプットの重要性も無視することができません。ただ、アウトプットといっても人（教師）によってその意味するところは大きく違うようです。ある人はドリル練習もアウトプットだし、音読練習も大事なアウトプットだと主張して、それらに多大な時間を割いているようです。別の見解では、コミュニケーションの中で情報や気持ちなどを伝える手段としての発話活動（スピーキング・ライティング）が本来のアウトプットのあるべき姿であり、その学習方法や練習方法もドリルのように機械的に行うのではなく、目的と場面状況設定があるタスク活動の中で行われるべきであると主張します。SLA研究で支持されるのは、後者の考え方です。また、アウトプットは学習したことを自動化するためだけの活動、あるいはこれまでの学習の確認作業の活動と捉える向きもあります。しかし、SLA研究ではアウトプットはインプットと密接に関係していて、相互がダイナミックに交わる中で効率的な学習過程が形成されていくと捉えています。こういった捉え方が教育的にどのように応用され得るのか、そしてインプットとアウトプットを結びつけていくためのインターアクションの姿はどうあるべきなのか、教育的応用の可能性を一緒に探っていきたいと思います。

本講座では、こういったことについて理論、研究、そして実践面から迫っていこうと思います。インプット、アウトプット、インターアクションは言語習得のみならず、人の学び全般において重要な働きをするので、本講座もZoom上となりますが、できるだけ**input-rich**、**output-rich**、**interaction-rich**なものとしていければと思っています。

※授業に関する簡単なフィードバックや質問・疑問を毎回提出していただきます。

※使用教材： パワーポイント（Zoom上で画面シェア）

講師： 和泉 伸一 IZUMI, Shinichi

■セッション2／3

講座名	日程	時間	定員	コード番号
セッション2 **成功する授業ディベート ～理論編～**	8/11（木）	10:00～12:00 （120分）	24	**54702**
セッション3 **成功する授業ディベート ～実践編～**	8/11（木）	13:30～15:30 （120分）	12	**54703**

「指導要領は変わったけれど、ディベートを授業でやるのは無理」、「授業ディベートはやってみたいけど、不安」など、英語ディベートを授業に導入されることに躊躇われている先生方は多いと思われます。一部の高校生はスムーズに授業でディベートを行うことができるでしょうが、様々な理由から実施に踏み切れない学校の方が多いというのが実情でしょう。しかし、生徒の総合的な英語力を高めるために、授業にディベートを取り入れることは大きなメリットがあります。競技ディベートとは異なる、生徒同士のインタラクションを増やし、批判的思考と英語力を高める授業をご紹介致します。

【理論編】では、授業ディベートを取り入れる理由から、授業計画の進め方、授業運営の方法までを実践例を踏まえてご紹介いたします。「授業ディベートはただ教科書に載っているからやる」ではきっと上手くいかないでしょう。成功するためには、該当レッスン以外でのディベートに繋がる活動が重要になります。お勧めする1つはプレゼンテーション・バトル。中学生でも高校生でも実施可能な活動で、これを経験することがディベートへと繋がります。この講座を通じ、理論と実践例を踏まえて早速日々の授業をディベートに繋がるものに変えてみませんか？きっと生徒の今までにないような大きな成長を見ることができると思います！

【実践編】では、競技ディベートとは異なる授業ディベートを実際に体験し、ジャッジの仕方についても経験して学んでいきます。可能な限り理論編の受講と事前資料のお目通しをお願いいたします。ご自身で体験してから授業を行うことはとても重要ですが、そういう機会はあまりなかったり、身近な同僚と練習するのは恥ずかしい、という方も多いでしょう。ご自身で体験し、どういう所を授業で気をつけるべきか、体験を通じてご理解頂けると思います。まずは気軽に体験してみましょう！

※使用教材： Keynote（Mac版のPowerPoint）、授業動画
※事前課題： メール添付にて開講1週間前を目途にお送りします。

講師： 山口 和彦 YAMAGUCHI, Kazuhiko

■セッション4／セッション5　★一般の英語学習者の方々にもお奨めの内容です。★

講座名	日程	時間	定員	コード番号
セッション4 **英語らしい発音で歌いましょう！～歌で上達、英語発音～**	8/12（金）	10:00～12:00 （120分）	10	**54704**

YouTubeに公開されている英語の歌（曲名：2002、歌手名：Anne-Marie）のオフィシャルビデオを題材にして、英語の発音をコーチいたします（実際に歌っていただいてアドバイスします）。（https://www.youtube.com/watch?v=Il-an3K9pjg）
Zoom上でビデオオフ、匿名で参加していただくこともできるので、他の参加者の目を気にすることなく、思い切ってコーチングを受けていただけます。大人になってしまうと、発音のダメ出しはなかなか受ける機会がないのではありませんか？この機会に是非！また他の参加者の発音に対する私のコメントを聞くと、どういう音が良くてどういう音がダメなのかを聞き分ける力もつくでしょう。当日やってみて時間的に余裕があるようなら、あともう一曲とりあげたいと思います。
説明に『日本語ネイティブが苦手な英語の音とリズムの作り方がいちばんよくわかる発音の教科書』を一部用います。画面に出しますのでお持ちでなくても大丈夫ですが、あるとより便利かも知れません。

※使用教材： YouTube、PDF資料（Zoom上で画面シェア）

講師：　静　哲人　SHIZUKA, Tetsuhito

セッション5 **英語らしい発音で語りましょう！　～TEDで上達、英語発音～**	8/14（日）	10:00～12:00 （120分）	10	**54705**
セッション15　**追加セミナー** **英語らしい発音で語りましょう！　～TEDで上達、英語発音～**	8/14（日）	14:00～16:00 （120分）	10	**54705**

YouTubeに公開されている心理学者Kelly McGonigal氏によるTED talk “How to make stress your friend”を題材にして、英語の発音をコーチいたします。
Zoom上でビデオオフ、匿名で参加していただくこともできるので、他の参加者の目を気にすることなく、思い切ってコーチングを受けていただけます。大人になってしまうと、発音のダメ出しはなかなか受ける機会がないのではありませんか？この機会に是非！また他の参加者の発音に対する私のコメントを聞くと、どういう音が良くてどういう音がダメなのかを聞き分ける力もつくでしょう。
説明に『日本語ネイティブが苦手な英語の音とリズムの作り方がいちばんよくわかる発音の教科書』を一部用います。画面に出しますのでお持ちでなくても大丈夫ですが、あるとより便利かも知れません。

※使用教材： YouTube、PDF資料（Zoom上で画面シェア）

※セッション5、セッション15は同内容となります。併行受講不可とさせていただきます。

講師：　静　哲人　SHIZUKA, Tetsuhito

■セッション6

講座名	日程	時間	定員	コード番号
セッション6 **世界で活躍するためのグローバルマインドの育て方と 世界基準の英語試験IELTS教授法**	8/13（土）	10:00～12:00 （120分）	24	**54706**

本講座の講演形式で拙著「アジアNo.1英語教師の超勉強法（DHC）」のストーリーと共にグローカルに活躍するために必要なマインドセットと育て方についてお話しします。
後半はセミナー形式で日本でも受験者数が急増している話題の世界380万人が受験する世界基準の英語試験IELTSについての概要と技能別の対策法・教授法をお伝えします。

・「教えることで学ぶ」でグローカルに活躍するストーリー
・日本の英語教育とケンブリッジ英語教授法資格CELTA
・グローカルマインドを育てる英語教育
・世界基準の英語試験IELTSの概要
・IELTSの4技能別対策と教授法

※使用教材： Keynote（動画埋め込み）

講師：　嶋津　幸樹　SHIMAZU, Koki

■セッション7／8

講座名	日程	時間	定員	コード番号
セッション7 **4技能型授業を実現する準備活動**	8/13（土）	13:00～16:00 （180分）	24	**54707**

4技能型授業の実践が大きな課題となっています。授業の中で話す時間や書く時間を設けても、生徒がなかなか動かないという悩みをお持ちの先生は少なくないはずです。また、英語で授業をしても、生徒の反応が希薄で、果たして生徒は理解できているのか不安に感じたりすることもあるでしょう。また、こうしたことが続きますと、4技能型授業を展開するにはまだ機が熟していないのではないか、もう少し生徒が基礎力をつけてからの方が良いのではないかとも考えてしまいます。いったん始めた英語での授業が次第に日本語に戻っていってしまう典型的な流れです。
アウトプット活動を教室内で展開していくためには、まず生徒のマインドセットを変える活動が必要です。生徒は、間違えたくないと思いますし、目立つのが恥ずかしいと思うでしょう。また、いろいろと疑問はあるけれども、それを英語で表現できなくてあきらめてしまっているかもしれません。生徒がアウトプットできないさまざまな理由を特定し、一つ一つに解決策を講じていけば、4技能型授業は必ず実現します。いままで、あまり議論されてこなかった4技能型授業の準備となる諸活動をみなさんとひとつずつ確認していきます。生徒のアウトプットへの姿勢を変える準備活動を体験していただきます。

※使用教材： パワーポイント（Zoom上画面シェア）。セミナー中チャットにてPDF資料を配付します。
（ファイル送信不可の場合は、セミナー修了後にダウンロードできるリンクを示します。）

講師： 内田 浩樹 UCHIDA, Hiroki

講座名	日程	時間	定員	コード番号
セッション8 **成功するプレゼンテーション指導**	8/16（火）	09:30～12:30 （180分）	24	**54708**

探求活動が盛んに取り入れられるようになり、総仕上げとして英語でのプレゼンテーションを設定するケースが増えているようです。しかし、プレゼンテーションを聞いた生徒の感想は、「声が大きかった」「アイコンタクトができていた」「スライドが見やすかった」といったようなものばかりで、内容に関するものはほとんど出てきません。それはなぜでしょうか。原稿を見てみますと、辞書を多用していたり、教師が大きく手を加えていたり、ネットで見つけた英文をそのままコピーしていることは珍しくありません。聞き手の英語力を遙かに超えた原稿になってしまっているため、オーディエンスはほとんど理解できないでいるのです。コミュニケーション活動としてのプレゼンテーションは、伝えることが最も重要です。話す側だけがわかっているプレゼンテーションにはあまり意味があるとは言えません。また、教師がプレゼンのしかた（テンプレート）を教えることがよくありますが、この方法ですと、どの生徒も同じパターンで話すことになり、聞いていて楽しくありません。本講座では、生徒がプレゼンテーションの秘訣を自ら発見し、それを生かしたプレゼンの工夫を自発的に行うように指導するステップを考えていきます。プレゼン活動がうまくいっていない、あるいはこれからプレゼン活動を行おうという先生は是非ご参加ください。

※使用教材： パワーポイント（Zoom上で画面シェア）。セミナー中チャットにてPDF資料を配付します。
（ファイル送信不可の場合は、セミナー修了後にダウンロードできるリンクを示します。）

講師： 内田 浩樹 UCHIDA, Hiroki

■セッション9　　★一般の英語学習者にもお奨めの内容です。★

講座名	日程	時間	定員	コード番号
セッション9 **自立英語学習法セミナー**	8/14（日）	13:00～16:00 （180分）	24	**54709**

本研修セミナーは、1945年開校以来の累計受講人数15万人を誇る日米会話学院により、考案されたプログラムです。「自立英語学習とは」を知ることで、これまでの英語学習の問題点、今後の学習の進め方が明確になります。言語習得の理論と長年の教授経験に基づいた様々な学習法を実際に体験していただくプログラムとなっています。
英語好きの方には新しい発見があります。英語が嫌いもしくは苦手な方でも楽しく取り組める内容です。

受講後には以下の状態を目指します。

- 英語学習への心理的ハードルが下がり、自分の意思で英語学習がしたくなる
- どんな教材を、どういう手順で、何に気をつけて学習すればよいかがわかる
- 英語上達のためにやるべきことが見え、勉強法を実践することによる上達への手ごたえを感じる

※使用教材： パワーポイント（Zoom上で画面シェア）

講師：　緒車　奈穂子　　OGURUMA, Naoko

■セッション10

講座名	日程	時間	定員	コード番号
セッション10 **深い学びへ導く英語リーディングの実践** **～学習者エンゲージメントを引き出す授業デザイン～**	8/15（月）	10:00～16:00 (昼休:12:30～13:30) （150分×2回）	24	**54710**

中高の一般的な英語教科書を用いて、学習者の「夢中」を引き出す4技能統合型のリーディング授業をworkshop形式でご紹介したいと思います。学習者エンゲージメント（生徒の夢中、没頭、積極的関与）を引き出すためには、意欲の喚起・維持・強化という視点が欠かせません。それらを効果的に促すいくつかの原理とそれに基づく指導技術を知ることで、授業デザインの質をグッと高めることが可能となります。この講座では、主に以下の視点から、その実際の授業手法について触れてみたいと思います。

1）　Basic procedure of content-based approach（内容中心アプローチの指導手順）
2）　Cliffhanger approach（続きが気になるアプローチ）
3）　Grammar-based approach（文法ベースのアプローチ）
4）　Collaborative approach（協働的アプローチ）
5）　Text-to-Text approach & Humanistic approach　（テキストとテキストを繋ぐ＆心を読み解くアプローチ）

※使用教材： パワーポイント（Zoom上で画面シェア）。パワーポイント資料（PDF）はセミナー終了後にチャットで配付します。
※事前配付資料： テキスト集（PDF）をメールにて開講1週間前を目途にお送りします。
（また講義直前にチャットでもお渡しします。）

講師：　和田　玲　　WADA, Rei

✧　**和田先生新訳書ご紹介**
「外国語学習者エンゲージメント～主体的学びを引き出す英語授業～」（アルク）
英語教育6月号に和泉伸一先生による書評が掲載されています。ご一読ください。

■セッション11／12　★一般の英語学習者にもお奨めの内容です。★

講座名	日程	時間	定員	コード番号
セッション11 **Reading Aloud から Reading Alive へ** **～聞き手を意識した伝わる朗読＆プレゼンテーション～ 入門編**	8/17（水）	09:30～12:30 （180分）	12	**54711**

ニュース・スピーチ・ストーリーと言った異なるジャンルの原稿をそれぞれの題材にあった声の出し方、読み方を工夫し、理解した内容を正確に、さらにパフォーマンスとしてオーディエンスを楽しませる読み方を身につけて授業に役立てて頂くことが目的の講座です。入門編と応用（実践）編にわかれています。

入門編では音読と朗読の違いを考えながら、書かれた文字をどう発声するとオーディエンスに届くかなど、朗読のセオリーについて学びます。単語の持つ意味を「音」で正確に表現する、文章を「可視化」して読む、同じ単語でも書かれたジャンルによって（もしくは伝える相手によって）どのように読み方を変える必要があるか、などを具体的な例文を元に声に出しながら考えていきます。
また、朗読のポイント（理解・間・強調・呼吸・練習・発音・マーキング・スピード等）を一つ一つ丁寧に理解し、様々な文章にあてはめていく演習を行います。実際にお互いに聞き合い、互いの変容を確認し、自身の音読を修正していく時間をとり、最終的に発表をしていきます。講座の終わりには講師による朗読実演もあります。

※使用教材： パワーポイント（Zoom上画面シェア）。
※事前配付資料： テキスト集（PDF）をメールにて開講1週間前を目途にお送りします。
（また講義直前にチャットでもお渡しします。）

講師：　青谷 優子　AOTANI, Yuko

セッション12 **Reading Aloud から Reading Alive へ** **～聞き手を意識した伝わる朗読＆プレゼンテーション～ 実践編**	8/17（水）	13:30～16:30 （180分）	12	**54712**

ニュース・スピーチ・ストーリーと言った異なるジャンルの原稿をそれぞれの題材にあった声の出し方、読み方を工夫し、理解した内容を正確に、さらにパフォーマンスとしてオーディエンスを楽しませる読み方を身につけて授業に役立てて頂くことが目的の講座です。入門編と応用（実践）編にわかれています。

実践編では実際のニュース・スピーチ・詩・物語といった異なるジャンルの原稿の内容をまず細かく分析し、どういった声の出し方、間の付け方、声のトーンで読めばよいかを考えていきます。また各ジャンル、それぞれの内容に適した表現方法の練習を行っていきます。さらにオーディエンスへの「伝え方」を意識した目線・姿勢・表情・ジェスチャーといった総合的なプレゼンテーション技術を身につけていきます。実践編では参加者には実際に「発表」をして頂き、聞き手を引き付ける朗読＝リーディングパフォーマンスを完成させ、最終的に「発表」を行います。講座の終わりには講師による朗読実演もあります。

※使用教材： パワーポイント（Zoom上画面シェア）。
※事前配付資料： テキスト集（PDF）をメールにて開講1週間前を目途にお送りします。
（また講義直前にチャットでもお渡しします。）

講師：　青谷 優子　AOTANI, Yuko

■セッション13

講座名	日程	時間	定員	コード番号
セッション13 **学びを止めない！！オンラインで実施する 「英語」×「探究」、「英語」×「教科横断」**	8/19（金）	10:00～12:30 （150分）	24	**54713**

CNNや英語のニュース、動画を活用し、英語×探究、英語×教科横断の授業を紹介し体験してもらいます。
内容は基本から中級編です。中級・上級の方はまた違う講座にご参加ください。（中級・上級：Quizlet や Googleclassroomなどは基本もう使っている、ブレイクアウトなどを活用して授業は進めているなど）
今回は、オンラインでも実施できる一斉、協働、個別学習のためにどんな準備が必要でどんな授業ができるか（基礎部分）を体感してもらいます。特に本場の生の英語のニュースを活用してのリスニング力アップに役立つ内容です。

※Q&AセッションでICT活用など個別質疑応答も対応します。

※使用教材： パワーポイント、動画など（Zoom上で画面シェア）

講師： 米田 謙三 YONEDA, Kenzo

■セッション14 ★一般の英語学習者にもお奨めの内容です。★

講座名	日程	時間	定員	コード番号
セッション14 **話すための音読：考え方とやり方**	8/20（土）	13:30～16:00 （150分）	24	**54714**

音読は効果的な英語学習法のひとつとして長年人気があります。私自身も大学時代に音読で英語力伸ばすことができました。そんな経験から、2005年、私が経営する英語学校「ジョイ・イングリッシュ・アカデミー」に音読専門のコースを開設。最近は、高校生と社会人を中心に多くの受講者で賑わっています。そのコースの特徴は「音読を通じて会話力をつける！」です。本セミナーでは、私が実践する話すための音読指導の考え方、そして学び方・教え方について紹介し、実際にトライします。

※ブレークアウトルームを使い、ペアワークをしますので、カメラとマイクが使えるPCあるいはタブレットでご参加ください、

※使用教材： Keynote、資料（Zoom上で画面シェア）

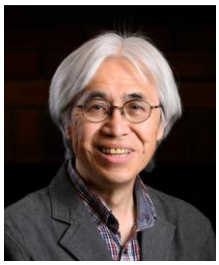
※参考書籍： 『音読JAPAN』（IBCパブリッシング）

講師： 浦島 久 URASHIMA, Hisashi

✧ **浦島先生新書ご紹介**
「自己紹介の英語」改訂版（IBCパブリッシング）
「音読JAPAN」改訂版（IBCパブラリッシング） ７月下旬刊行予定

【講師紹介】

 AOTANI, Yuko 青谷　優子	朗読家・バイリンガルフリーアナウンサー・英語コミュニケーション講師・神戸学院大学客員教授。 早稲田大学大学院人間科学研究科　メディアコミュニケーション領域　修了。 1992～2015　NHK国際放送英語アナウンサーとして英語ニュースのメインアンカーを務める。 NHKラジオ第二、またNHK Radio Japanにて日本文学を海外に英語で紹介するラジオ朗読番組Listening Libraryを企画・演出・制作・出演。 2015年に独立。以降朗読アプローチを用いて英語朗読・プレゼンテーション講座・講演などを全国の大学、高校、学会などで展開している。同時に社会人、英語教師向けの英語朗読・プレゼンテーション講座を毎月開催している。この他、朗読リサイタル・イベント司会、通訳など活動は多岐にわたる。音読指導の研究も継続中。 ・著書「英語は朗読でうまくなる！」（2017、アルク）、「英語朗読でたのしむ日本文学」（2019、アルク）。 https://yukoaotani.jp/
 IZUMI, Shinichi 和泉　伸一	上智大学外国語学部英語学科、言語学大学院　教授。 ジョージタウン大学博士課程修了。言語学博士。南イリノイ大学東アジア言語文化学科日本語講師、ジョージタウン大学言語学学科講師、ハワイ大学マノア校客員研究員、オークランド大学客員研究員を経て現職。専門は第二言語習得研究と英語教育。 著書には以下のものがある。“Soft CLIL and English Language Teaching: Understanding Japanese Policy, Practice and Implications”（2022年、Routledge）、『第2言語習得と母語習得から「言葉の学び」を考える～より良い英語学習と英語教育へのヒント～』（2016年、アルク）、『フォーカス・オン・フォームとCLILの英語授業』（2016年、アルク）、『「フォーカス・オン・フォーム」を取り入れた新しい英語教育』（2009年、大修館）、『CLIL（内容言語統合型学習）：上智大学外国語教育の新たなる挑戦ー第1巻 原理と方法、第2巻 実践と応用、第3巻 授業と教材』（共著、2011年、2012年、2016年、上智大学出版）。その他に、中学校用英語検定教科書『New Horizon: English Course 1, 2, 3』（東京書籍）編集委員、Tokyo Global Gateway（青海・多摩）監修者、日本英語検定協会研究助成制度選考委員、ベネッセ教育総合研究所英語教育研究（ARCLE）理事、上智大学英語教育研究会事務局長なども務める。
OGURUMA, Naoko 緒車　奈穂子	上智大学外国語学部卒業。日系・米系証券会社勤務を経て、フリーランス通訳者。 2006年～2010年　アイ・エス・エス・インスティテュート通訳コース講師。日米会話学院講師。
 SHIMAZU、Koki 嶋津　幸樹	英語教育起業家 タクトピア株式会社　英語教育開発推進事業部長 山梨県立大学国際政策学部　非常勤講師 1989年山梨県甲斐市生まれ。山梨学院大学附属高等学校英語科（SELHi）卒業、青山学院大学文学部卒業、在籍中オックスフォード大学ELT英語教員研修に最年少参加。17歳の時に海外進学塾EUGENIC（現Academia）創業、大学在学中に3校を経営し、24歳で売却。高校生時代に体験したホームステイでの厳しい体験をバネに独学でIELTS 8.0を獲得し、オックスフォード大学・ロンドン大学（UCL）の修士課程にダブル合格。ケンブリッジ英語教授法資格Cambridge CELTAを取得。ロンドン大学教育研究所応用言語学修士課程（MA in Applied Linguistics）修了。世界で最もイノベーティブな教育を実践する英語教師に贈られるPearson ELT英語教育ティーチャーアワード2017を世界108ヶ国1395名の応募から選出され受賞。これまで青山学院大学、相模女子大学で講師を務め、Cambridge University PressにてMarketing and Research Coordinatorを兼任。2018年度文部科学省「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」講師担当。英字新聞ジャパン・タイムズAlpha連載。著書10冊。
 SHIZUKA, Tetsuhito 靜　哲人	大東文化大学外国学部教授　副学長・学生支援センター所長・教職課程センター所長 東京外国語大学卒業。コロンビア大学TCより修士号（MA in TESOL）。レディング大学より博士号（PhD）。個別発音指導の方法である「グルグルメソッド」開発者。専門は英語授業実践学。英語教員の養成にあたっている。 著書：『日本語ネイティブが苦手な英語の音とリズムの作り方がいちばんよくわかる発音の教科書』『日本語ネイティブが苦手な英語の音とリズムの聞き方がいちばんよくわかるリスニングの教科書』（テイエス企画）『英語授業の心・技・体』『英語授業の心・技・愛』（研究社）『音声指導入門　音ティーチングハンドブック』『発音入門　音トレーニングドリル』（アルク） オンデマンド配信動画講座：『小学校の先生のための「これならできる！英語発音』（ジャパンライム） DVD：『英語発音の達人ワークアウト「Englishあいうえお」』（ジャパンライム）

 UCHIDA, Hiroki 内田　浩樹	南山大学文学部卒、南山大学大学院外国語学研究科修了。愛知県立半田商業高等学校、半田東高等学校、知多高等学校教諭、名古屋短期大学専任講師、鳥取環境大学准教授などを経て、現在、国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科研究科長・専攻長、英語教育実践領域代表・教授。専門は、英語教師教育、英語教育プログラム開発、教材開発、語彙指導など。著書は「つむぐ英単語（河合出版）」、「PLAY！拼装英單（笛藤出版・台湾）」「英単語メモリー（Jリサーチ出版）」など。また、「国際教養大学・内田浩樹教授のライブ授業シリーズ」（ジャパンライム）等を通じて授業実践をDVDで発信している。 Hiroki Uchida started his teaching career at a Japanese high school in 1989. He taught students on various proficiency levels for nine years, and he stepped into his new field of teacher training. He is currently teaching at Akita International University, and is Dean and Director of Graduate School, Head of English Teaching Practices Program, Graduate School of Global Communication and Language.
 URASHIMA, Hisashi 浦島　久	1952年北海道豊頃町生まれ。小樽商科大学（経営学）卒、帯広畜産大学修士課程（農業経済）修了。大学卒業後に松下電器産業株式会社（現社名：パナソニック株式会社）へ入社するが、1977年に北海道へUターンし、帯広市にて英語教室「イングリッシュハウス・ジョイ」を設立。現在は、ジョイ・イングリッシュ・アカデミー学院長、小樽商科大学特認教授。 著書に『音読JAPAN』（IBC）、『1分間英語で自分のことを話してみる』（共著、KADOKAWA）、『話すための英作文1秒反射トレーニング』（共著、DHC）など40冊。うち7冊が韓国、1冊が台湾で翻訳出版されている。 趣味は、写真（風景）、音楽（ジャズ）、カーリング（世界シニアカーリング選手権2009、2010、2013、2014、2018出場）。 その他として、豊頃町観光大使、帯広市文化賞受賞（2016）、文部科学省検定済中学校英語教科書『ONE WORLD English Course』著作者。ブログ「浦島久の玉手箱」http://www.joyworld.com/blog/
 WADA, Rei 和田　玲	順天中学高等学校教諭。2003年より現職。ロンドン大学クイーンメアリー修士課程修了（応用言語学：首席）。「生徒のモチベーションを高める英語指導ストラテジー」を英国ノッティンガム大学・Zoltán Dörnyei教授と共同執筆（「アルク英語の先生応援マガジン」2019冬号）。2022年3月翻訳書として『外国語学習者エンゲージメント ――主体的学びを引き出す英語授業――』（サラ・マーサー＆ゾルタン・ドルニェイ著、鈴木章能＆和田玲訳、アルク）を出版。 著書に『5Step アクティブ・リーディング』や『アクティブ・リーディングSuper: 世界を読み解く英語リーディング』（いずれもアルク）など。 その他、大学や全国の様々な教員研修機関にて講師を務めている。元テコンドー全日本チャンピオン、世界大会メダリストでもある。
 YAMAGUCHI, Kazuhiko 山口　和彦	山形県立東桜学館中学校・高等学校国際交流主任。山形スピーク・アウト方式の進学校版を山形西高校で研究・実践した。その後もスピーク・アウト方式やCLILの要素を組み合わせ、先進的な英語指導に取り組んでいる。令和3年度全国英語教育研究団体連合会（全英連）山形大会の高等学校授業実演の授業者。 中学3年生の授業にディベートを取り入れ、昨年は1年間のGTECのスコアの伸びが全国3位に。HEnDA主催の全国高校生英語ディベート大会への山形県からの初出場チームを指導し、これまでの同県最高予選順位のチームを指導している。 全国英語教育研究学会（JASELE）所属。文部科学省認定教科書『PROMINENCE English Communication（東京書籍）』シリーズ、同『ENRICH LEARNING English Communication（東京書籍）』シリーズの編著者。

YONEDA, Kenzo
米田　謙三

関西学院千里国際中等部・高等部勤務。
指導教科：英語、情報、地歴公民、総合的な探究　　専門分野：ICT、協働学習
学歴：神戸大学 教育学部卒（情報学　修士）
役職等：文部科学省　教科　情報　高校学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等協力者 総務省　青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース委員　経済産業省　未来の教室　STEAM　ライブラリーWG委員、全国高校生ICTカンファレンス実行委員長（内閣府、警察庁、経済産業省、総務省、文部科学省、消費者庁共催事業）、公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 国際教育専門委員会 前委員、公益社団法人国際文化フォーラム アドバイザリースタッフ、公益社団法人英語検定協会派遣講師、平成19～21年度 文部科学省委託事業、先導的教育情報化推進プログラム調査研究協力会議委員、大阪市（港区）教育委員会「ネットで学べる授業（教科書準拠教材および動画）」監修、 大阪府高等学校情報科研究会幹事、大阪私学教育情報化研究会 副会長、大阪私学国際研究会 理事、全国高等学校情報科研究会委員、警察庁 児童のスマートフォン利用に関する効果的な広報啓発に関する研究会 委員、神戸市消費生活会議消費者行政検討部会前委員

著書：『デジタル教材活用ガイドブック』（大修館書店）、『英語×「主体的・対話的で深い学び」』（大学教育出版）、『すぐできる教育活用ブログ入門』（明治図書）、『電子黒板が創る学びの未来』（ぎょうせい）、『インターネットの光と影―被害者・加害者にならないための情報倫理入門』（北大路書房）、『CNN Workbook』（朝日出版）、『総合的な探究教材　アクチュアル』（大修館書店）、ユネスコアジア文化センター SDGs 学びの変容事例、『英検STEP 年間連載』、『アルク 年間連載』、その他新聞、英語情報誌、教科書会社、大手予備校、雑誌等、掲載記事多数

ご参加された方の声　（2017年～2021年）

毎年セミナーを受講された方々から数多くのコメントを頂いておりますが、その中から一部ご紹介をいたします。

以前他の先生より"朗読なら青谷先生"と紹介されました。いつか受講できればと思っていましたが実現して良かったです。紹介されていた音読教材も心をうつもので、共感するものばかりでした。面白かったです。
– 2019年夏　青谷講師　ご受講

タイプの異なる朗読を先生の解説をお伺いした上で練習をすることで、昨日のポイントをより理解することができました。 本も大変参考になりましたが、直接お話を聞きながら、モデルを示していただけることで具体的なイメージが膨らみました。いつか生徒にも先生の朗読を直接聞かせてあげる機会があればと思います。
– 2020年夏　青谷講師　ご受講

ポイントがわかりやすく、先生の朗読にただただ引き込まれていました。
読み手が変わると、こんなにも聞こえ方が変わってくるのだと実感できました。
また、音読の練習は日頃の授業から少しずつ取り入れていましたが、スピーチやプレゼンをする際に、生徒が原稿をただ読んでいるという現状をどう脱却すればよいのかのヒントを得ることができました。
– 2020年夏　青谷講師　ご受講

一貫した'content-based'の方針があり、それぞれのroundにつながる仕組みが随所にあり、感動したひと時でした。来年度の授業に是非活用させて頂こうと思いました。最後の「生徒と共に考えてみたい」はしびれました。
– 2019年春　和泉講師　ご受講

すぐに授業に取り入れられるactivityが沢山ありました。Contentとlanguageは切っても切れない物だという事もとてもよく分かりました。色々なアイディアを考えられそうです。新年度に向けて新たなスタートが切れそうです。
– 2019年春　和泉講師　ご受講

イギリスの大学院でSLAに触れたのですが、theoryについてはさらっと学んだだけだったので、今回の和泉先生のセミナーを通してtheoryそのものを批判的に考える視点が得られ、目から鱗でした。セミナーを通して励まされました。
– 2021年春　和泉講師　ご受講

朗読やスピーチについてのマニュアルで勉強することがあるが、プロの先生の言葉による説明と個々のフィードバックが、体の中にストンと入ってきてより理解力が高まった。 上手に読むのではなく、上手に伝えることが大切で、そのためには練習を沢山しなければいけないということを言われ本当にその通りだと思った。
– 2019年夏　青谷講師　ご受講

とても楽しかったです。後期も大学の授業で音読・朗読を扱う（遠隔か対面かは未定ですが）ので、学生と一緒に楽しみながら学びたいと思います。
– 2020年夏　青谷講師　ご受講

学校の教科書を読む際、朗読を出来るということが、その本文の理解を測るのに一番良い評価方法だと考えるようになった。音、文法、意味、筆者の言いたいことへの理解等が朗読をすればよく分かることが分かった。
– 2020年夏　青谷講師　ご受講

実際の高校生の教科書でソフトCLILを使っての提示をして頂いたので、実際体験しつつ、勤務校でどのように授業を行うかアイディアが湧いてきました。内容を伴う、英語を実際に使う授業は楽しい事を改めて実感しました。また、先生の雰囲気が話しやすい感じで、生徒に対してそのような接し方ができるようになりたいと思いました。アクティビティが満載で、時間がすぐに過ぎました。教員の仕掛け、準備でこんなに楽しい授業ができるなら頑張れると思いました。ありがとうございました。
– 2019年春　和泉講師　ご受講

理論と実践のバランスがちょうどよく、2学期に向けていろいろ試していきたいと思えた。
– 2021年夏　和泉講師　ご受講

CLILについては 2018年の和泉先生の日米でのセミナー内容やご著書を参考にしながら、高校生の授業で実践を試みています。先生がおっしゃっていたように、最初は細かい部分から知りたがった生徒たちも、数ヶ月でBig→Small→Further Developmentの流れに慣れ、3年目の現在では（高3）では、英文を通して新しい知識を身につけ、思考を深化させていく過程が楽しいようです。授業者の私も生徒の視点から学ぶことが多く、生徒の持つ可能性に日々感嘆しています。
– 2021年夏　和泉講師　ご受講

英語で歌うことについて、はじめて教わったのでとても楽しかったです。各発音についても、目からウロコのことが多くて、たくさん発見できました。こういう楽しい講座をレギュラーでやってほしいです。 －2021年夏　静講師　ご受講

破擦音、tの音が周りの音に応じて変化することなど、中級レベル以上の音声指導を受けられたのがよかったです。どの受講者に対しても妥協を許さない空気感が緊張感を与えてくれて、とてもやる気になりました。最近は優しい雰囲気のワークショップが多いので、危機感を持って取り組む空気感も時にはよいと思います。 －　2021年夏　静講師　ご受講

ほぼ未知のアプリや指導法で大変興味深いセミナー内容でした。自分のリスニング力だけでなく、指導法に生かせるかと思います。大変丁寧に教えて頂いたので、ICTは苦手な私ですが、理解することができました。
－　2020年夏　米田講師　ご受講

これから先必要となるであろうオンライン教育の知識が足りていないと痛感していたので、この講座を受講しました。これから少しずつ勉強して挑戦していきたいと思います。
－　2020年夏　米田講師　ご受講

これからも学びを続けてすぐに授業に取り入れていきたいです。静岡県の公立中学では、休校期間中にオンライン授業をできない学校が多かったので、早くいろんなことを知って、学びの格差が出ないようにしたいので、そういったいろんな講座をやってほしいです。
－　2020年夏　米田講師　ご受講

多くの情報を聞け、今後活用できそうなファイルもいただけてよかったです。
－　2020年夏　米田講師　ご受講

生徒をモニタリングすることの大切さを改めて学びました。指導テクニック以上の事を学びました。先生のファンになりました！
－　2017年夏　和田講師　ご受講

先生の講座を受講するのは2回目でしたが、前回実践していただいた授業の裏にある理論と信念を知ることで、自分が準備をする際にどのようなことに気をつけるべきか理解を深めることができました。
特に、モチベーションを可視化される研究は興味深く、さっそく2学期の授業構成を考える際に参考にさせていただきたいと思います
－　2020年夏　和田講師　ご受講

理論に基づいた実践授業（ホームルーム活動）も含めて、沢山シェアしていただいたので、大変勉強になりました。とても和田先生の真似はできませんが、少しずつでも生徒の為に自分の授業を改善して行けたらと思います。和田先生のお考えに共感し、感極まってしまう場面もあるほど感動しました。
－　2021年夏　和田講師　ご受講

Somewhere over the rainbowを生徒達と手拍子を付けながら歌ったらどんなに楽しいかなとワクワクした想いが膨らみました。また、自分自身の発音力を向上させたいという意欲も湧いてきました。そんな沢山の刺激を与えて頂きました。 －　2021年夏　静講師　ご受講

担当の英文パートを音読し、講師の先生に弱点を指摘していただくことで、どのように発音すべきかを考えて改善でき、何度も声に出してスピーカーに近い発音法を学ぶことができました。また、最初の導入時にビデオで引用箇所の映像を見せてくださり、講師の先生のチョイスされた理由も説明くださることで、魅力的でぜひ覚えるべき英文であることもわかり、発音練習のモチベーションの向上につながりました。今回の研修では静先生によるクリニックで厳しい発音診断を受けて、これからの改善の指針をいただく、という貴重な機会となりました。
－2020年夏　静講師　ご受講

中学校で教員をしています。授業やALTとのコミュニケーションにおいて英語は発するものの、自分の発音に関してフィードバックをもらえる機会はほとんどないため、今回の講座は有益で、とても刺激のあるものでした。また、自分の発音を顧みるだけでなく、どのように指導すればよいかという点において多くのヒントを得ることもできました。ありがとうございました。
－　2021年夏　静講師　ご受講

大人になってからのやり直し英語で、大学等で英語を習っていないので、ついて行けるかわからなく不安だったのですが、先生の温かいご指導を2時間たっぷり楽しめました！終わった後は全身が疲労していて30分動けなかったほどでした。刺激たっぷりの講座をありがとうございました。
－　2021年夏　静講師　ご受講

1学期に発信された大量の情報を、きちんと整理する時間となりました。それぞれのツールをどのようにすれば効果的に使用できるのか、使用し続けながら探っていきたいと思います。
－　2020年夏　米田講師　ご受講

短い時間の中にこれだけの情報を入れて頂き、しかも今後につながるような仕掛けも作っていただき、どうもありがとうございました。まだ本日の内容を授業で実際にこなすことが出来るかどうか、100％の自信が持てないので上記のアンケートで「役に立った」と言う答えを選択しました。トライしていくうちに、「大変役に立った」と言えるように、夏休みのうちに頑張りたいと思います。
－　2020年夏　米田講師　ご受講

和田先生のセミナーはいつも教室で使える具体的なアイディアが詰まっていて、学びが多いです。今回も和田先生がデザインされた貴重なタスクやアクティビティをたくさんシェアしてくださり、感謝です。自分の置かれたコンテキストで使えるよう、アレンジを考えていきたいです。
－　2017年夏　和田講師　ご受講

和田玲先生のセミナーは、いつも現場の授業に即していて、非常に勉強になります。英語「を」教えるのではなく、英語「で」教育する、というのは、以前から言われていることですが、まさにこういうことなんだと今日はっきりと理解できた気がします。 －　2020年夏　和田講師　ご受講

毎回和田先生の講座を楽しみにしています。新学習指導要領で主体的に学習に取り組む態度をどのように評価し、どのように生徒にフィードバックすればいいのかわからなかったのですが、たくさんヒントになりました。
－　2021年夏　和田講師　ご受講

今回一番驚いたのは、先生自身の失敗談を見せていただいたことです。何年かに1回はうまくいかないような年もあったのを拝見して、ここに至るまでは相当な試行錯誤を重ねてこられたのだ、と感じました。1度うまくいった方法に固執するのではなく、時代や対象生徒に合わせて変化することを恐れない姿勢を自分自身も持っていきたいと思います。
－　2021年夏　和田講師　ご受講

募集要項

受講申込および学費納入

申込受付期間　2022年7月1日（金）～8月13日（土）

学院Webサイトよりお申込みください。https://www.nichibei.ac.jp/form/application.php
申込順の受付で、定員に達し次第締め切ります。
各科目の空き状況につきましては、電話（03-3359-9621）にてお問い合わせください。定員に余裕のある講座は、締切日以後もお申込みを承ります。
また、一部科目は追加講座を設置いたします。

お申込みは こちらから

申込日から3日後を目処に「受講案内」（学費納入等）をメールにて送付します。ご確認の上、指定日までに学費を納入してください。
お支払い方法につきまして［オンラインによるクレジットカード決済］または［銀行振込］をお選びいただけます。
学費納入をもって受講手続完了といたします。なお、銀行振込手数料は受講者負担となります。
※　受講料のお支払いが団体の場合は、法人請求先欄に記載願います。ご請求書をお送りします。

教材

セミナー内あるいはセミナー前に、画面共有にてシェアあるいはメール添付にて配付いたします。

授業見学・早期申込割引・中途受講

適用外となります。

Zoom環境（システム必要条件）

講座はすべてオンラインで行います（Zoomを使用）。授業開始5分前にはZoomに入り、ご準備ください。

下記のZoom環境をあらかじめ、ご確認ください。

- インターネット接続には有線または無線ブロードバンドをご利用ください。4Gまたは5G／LTEでも可能ですが、月別のデータ重量制限を越えると追加料金が発生する場合があります。
- スピーカーとマイク、ウェブカメラが使用できる機器が必要です。パソコンが理想ですが、スマートフォンやタブレットPCでも可能です。その際は、ヘッドセット（マイク付きイヤホン）などの使用が便利です。
- 設定については、下記をご参照ください。
  https://www.nichibei.ac.jp/news_archive/information/_zoom.html
- 詳しくはZoomのヘルプデスクをご覧ください。
  https://support.zoom.us/hc/ja/categories/200101697

受講撤回時の取り扱い

1. 開講日の前日までの受講撤回
   書面による申出にて学費の全額を返却します。但し、返金手数料（1,000円）を差し引きます。
2. 開講後の受講撤回
   当学院所定の書類による申出にて、支払い済みの学費から、既受講分学費（支払済み学費÷授業回数×受講回数）と解約手数料を差し引いた額を返却します。
   ※解約手数料：5万円又は契約残額の未受講分学費（支払い済学費÷授業回数×未受講回数）の20%に相当する額のいずれか低い額。
   ※なお、開講日から受講撤回の申出日までの期間は授業が行われている限り、また、申出日が授業日の場合、実際の受講の有無に関わらず、受講したものとみなします。
3. 学費の返却方法
   原則、銀行振込にて返却します（当該書面／書類には振込先の銀行口座の情報をご記載ください）。
4. 教材費の返却
   適用外となります。
5. 受講約款につきましては、学院Webサイト（https://www.nichibei.ac.jp/contact/provision.html）をご覧ください。

アクセス

地図・交通アクセス

お気軽にお問い合わせください。

一般財団法人　国際教育振興会

日米会話学院

Nichibei Kaiwa Gakuin Since 1945

International Education Center 国際教育事業
一般財団法人 国際教育振興会 国際交流事業

〒160-0004　東京都新宿区四谷1-6-2
コモレ四谷　グローバルスタディスクエア3F
TEL 03-3359-9621　FAX 03-3353-8908
JR 中央線・総武線／東京メトロ丸ノ内線・南北線
四ツ谷駅より徒歩3分

●事務取扱時間　平日 受付時間 10:00～19:30
土曜 受付時間 09:45～17:30